

項目		説明
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	再発形式から見た食道胃接合部腺癌の治療戦略
	研究目的	本邦における食道胃接合部腺癌は増加傾向にある。しかしながらその診断、治療、予後までがガイドラインにおいても明確な記載に乏しい。 また、食道胃接合部腺癌の再発形式の詳細、その治療においても同様に明らかでない。本研究では当院にて食道胃接合部腺癌に対して手術を行った症例の再発形式、および予後を検討し、再発形式毎の治療戦略を検討する。
	研究対象者	1986年から2015年に当院において Siewert Type I/II/III 食道胃接合部腺癌に対し手術を施行した症例のうち、①D1 郭清以上かつ摘出リンパ節個数16個以上、②R0/1、③NAC 非施行、④non-Type4、を満たす症例を対象とする。
	研究期間	西暦 2019 年 12 月 17 日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	大島 貴
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし